

レトルトは、温めた場所で食べなくていい時代へ。温かいまま、好きな時間、好きな場所へ

～電子レンジのない場所でも、温かいレトルト食品を。約5分温めてすぐ食べられ、湯切り後にお湯を入れ直せば最長5時間持ち運べる「レトルト魔法瓶」～

ピーコック魔法瓶工業株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役社長:山中千佳)は、レトルト魔法瓶を発売いたしました。部活動やスポーツクラブ、屋外作業、ハイキングや釣り。温かい食事を取りたいと思っても、電子レンジやコンロがない、昼休みの売店やコンビニが混雑しているなど、食事の場所と時間にはさまざまな制約があります。ピーコック魔法瓶工業株式会社が発売した「レトルト魔法瓶」は、こうした日常の小さな不便に 대응するために生まれました。食べる場所に温める設備を求めず、並ぶ時間や調理の手間も抑える、新しい食事の選択肢です。



Peacock公式ホームページ商品説明: <https://www.the-peacock.co.jp/blogs/feature/lkr-60>

■ 温める設備がない場所へ、温かい食事を。

レトルト魔法瓶に
レトルト食品とお湯を入れるだけで**完成**



レトルト食品は常温で持ち運びやすく、季節を問わず活用できる便利な食品です。一方で、外出先で温かく食べるには電子レンジや湯せん設備が必要でした。「レトルト魔法瓶」は、食べる場所ではなく出発前などにお湯を用意することで、温かい食事を持ち運べるようにします。

使い方は簡単。本体にお好みのレトルトパウチを入れ、沸かしたてのお湯を注いで5分待ちます。その場ですぐに食べたい場合は、湯切りしてパウチを取り出します。外出先などに温かいまま持ち運ぶ場合は、一度湯切りした後、再び沸かしたてのお湯を注ぎふたを閉めます。これにより最長5時間、食べごろ温度をキープし、場所を選ばず召し上がれます。

味・品質ともに進化を続けるレトルト食品と、内瓶と外瓶の間を真空状態にして熱の伝導を防ぐ、魔法瓶メーカーならではの技術。この2つの進化を掛け合わせることで、これまでありそうでなかった「温かい食事を持ち運ぶ」という新しい選択肢が生まれました。

【本件に関するお問い合わせ先】

ピーコック魔法瓶工業(株) 広報・マーケティング部 担当: 木村(090-4862-1867)
TEL:06-6458-0564 FAX:06-6458-9505 E-mail:t.kimura@the-peacock.co.jp

■ すぐ食べるなら約5分、持ち運ぶなら再注湯して最長5時間

レトルト魔法瓶は、温かい食事を温かく、美味しく感じられる温度、60℃以上を約5時間キープできます。朝持ち出してのランチタイム、夕方持ち出しての夜食タイムなど、魔法瓶メーカーならではの真空断熱技術で、レトルト食品の可能性を拡げます。

5時間後も60℃以上の温かさ！

朝7時頃に家を出ても
ランチタイムまで温かさをキープ



温度測定試験 試験機関：一般財団法人 日本文化用品安全試験所 試験番号：265100368

試験方法：魔法瓶、レトルト食品を20℃の環境で2時間以上放置する。レトルト食品を折り曲げ、魔法瓶内に収納する。沸騰水を魔法瓶内のくびれの下端から約1cm下方まで注ぎ、中蓋、蓋をして、5分間予熱する。予熱に使用した沸騰水を捨て、新たな沸騰水を同様の水位まで注ぎ、中蓋、蓋をして20℃の環境で放置（保温）する。レトルト食品内部の温度、魔法瓶内部の水温を保温開始時から6時間後まで30分毎に調べる。※キーマカレー180gで検証。 ※レトルト食品内部の温度および魔法瓶内部の水温について、いずれも熱電対を設置した箇所の温度であり、必ずしも平均温度を示したものではありません。

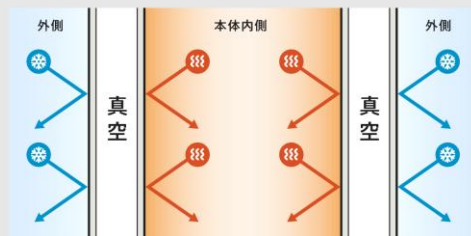
加温後の温度は60℃～70℃の
美味しく感じる黄金ゾーン



味覚が一番敏感に働き、出汁やスパイスの
香りが立ち上がる理想的な温度です。

魔法瓶の保温力

内瓶と外瓶の間を真空状態にすることで
高い保温力を実現。



■ 仕事・スポーツ・レジャーに広がる使い方

練習の合間に食事を取る部活動やスポーツクラブ、電子レンジから離れた屋外の作業現場、混雑を避けたいオフィス、ハイキングや釣りなどのレジャーまで。温める場所や行列に左右されないため、限られた休憩時間を食事と休息に使えます。

レンジやお湯のない様々なシーンで
活用いただけます！



【本件に関するお問い合わせ先】

ピーコック魔法瓶工業(株) 広報・マーケティング部 担当：木村(090-4862-1867)
TEL:06-6458-0564 FAX:06-6458-9505 E-mail:t.kimura@the-peacock.co.jp

【商品情報】

レトルト魔法瓶 〈LKR-60〉



ダークグレー〈HD〉



ベージュ〈CA〉

品 番	LKR-60	
実 容 量	0.6L	
口 径	約7.5cm	
本体サイズ	約8×8×21.8cm	
本体重量	約0.33kg	
JANコード	ベージュ〈CA〉	4971860039041
	ダークグレー〈HD〉	4971860039058

湯切りせん

お湯を捨てる際の「火傷の怖さ」や「パウチの飛び出し」を解決。



ハンドル

たためるハンドル付きで持ち運びやすく、カバンから取り出しやすい。



【使い方】

1. 予熱する(約5分)

- ① 本体にレトルトパウチを入れる
- ② 水位線までお湯を入れる
- ③ ふたをして5分保温する
- ④ お湯を切る

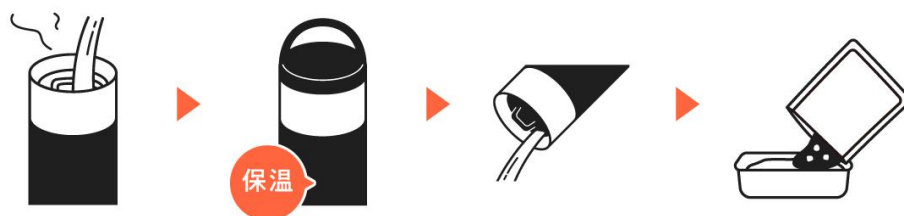


このまますぐにお召し上がりいただけます。

※持ち運ぶ場合は「2.本加熱」へ

2. 本加熱

- ① 再び沸かしたてのお湯を水位線まで入れる
- ② ふたをして持ち運ぶ
- ③ お湯を切る
- ④ 開封して食べる



【本件に関するお問い合わせ先】

ピーコック魔法瓶工業(株) 広報・マーケティング部 担当: 木村(090-4862-1867)
TEL:06-6458-0564 FAX:06-6458-9505 E-mail:t.kimura@the-peacock.co.jp

【対応レトルパウチ】

対応容量	180g程度まで ※内側の水位線を超えないもの
対応パウチ	○ アルミパウチ
	○ 電子レンジ対応パウチ
	✕ 冷凍/冷蔵用パウチ

※レトルパウチ以外の製品にはご使用いただけません。

※電子レンジ対応パウチは一度電子レンジで温めると密封性がなくなりますので、加熱前のパウチをご使用ください。

■ 一人の母親の願いから生まれた商品

開発のきっかけは、スポーツに励む息子を持つ社員の「頑張る息子に温かいごはんを食べてほしい」という思いでした。冬のグラウンドで冷えた弁当を食べる姿を見た経験から、当社が長年培ってきた“お湯の熱を逃がさない”魔法瓶技術と、進化を続けるレトル食品を組み合わせる発想が生まれました。さまざまな食品と容器サイズで試作を重ね、レトルパウチを温め、温かいまま持ち運ぶことに適した商品として形にしました。

■ Makuakeでのプロジェクト報告

【期間】 2026年7月1日 ~ 2026年8月2日

【目標金額】 100,000円

【応援購入総額】 913,264円

※皆様のご支援のお陰で大変ご好評をいただいて目標金額を大幅に達成するクリアする結果で終了することができました。皆様のご支援ご協力に心より感謝いたします。

【本件に関するお問い合わせ先】

ピーコック魔法瓶工業(株) 広報・マーケティング部 担当: 木村(090-4862-1867)

TEL:06-6458-0564 FAX:06-6458-9505 E-mail:t.kimura@the-peacock.co.jp